名工建設株式会社
COMPANY PROFILE

〒450-6113
名古屋市中村区名駅1-1-4
JRセントラルタワーズ
TEL：052-589-1501
www.meikokensetsu.co.jp

名工建設株式会社

VEGETABLE OIL INK

ミックス
紙｜責任ある森林管理を支えています
FSC® C011109

2022.12.3000

経験と技術を礎に、新たな時代を創造する 企業へ。

鉄道工事の専門会社として走り始めた当社。創立以来、80年以上にわたって新幹線・在来線などの鉄道線路の新設・保守工事を行なってきました。そのノウハウを活かし、現在は「土木」「建築」「軌道」の3事業を主に手がける総合建設企業として、幅広い分野からの需要にお応えしています。環境に優しい鉄道の安全と快適を守り、その技術をまちづくりにも活かすことが、私たちの使命です。社会基盤の発展を支える企業としての責務を自覚し、これからも「安全・信頼」を大切にして事業に邁進してまいります。

代表取締役社長　鈴木広士



企業憲章

社訓

誠実 和して同ぜず

安全確実を旨とする鉄道工事の良き伝統に従い、
真心を尽くして高品質な施工に取り組む全社一丸の
決意を「誠実」の二文字に込めています。
また「和して同ぜず」は、論語によるもので、
「協調の中にも真実をもって切磋琢磨すべき」
という自覚を表しています。

企業理念

私たちは安全第一を旨とし、
お客様の満足が得られるものを
誠実の心と先端の技術力でつくりあげ、
未来に夢と希望を託せる
働きがいのある企業を目指すとともに、
社業の発展を通じて広く社会に貢献します。

行動規範

■ 安全第一
労働安全・鉄道安全の確保を最優先します。

■ コンプライアンス
法令、社会規範、社内ルール等を遵守し、公正、透明で良識ある企業活動を実践します。

■ より良い建設物の提供
多様化する顧客、社会的ニーズに応えるため、先端技術の駆使・技術開発・品質管理を通じて、より良い建設物を提供することにより、健全な会社の発展に努めます。

■ 環境保全
環境保全への取組みを推進し、良好な環境の創出に寄与します。

■ 社会秩序の保持
市民社会の秩序や安全・安心に脅威を与える反社会的勢力、団体とは一切の関係を持ちません。

■ 社会とのコミュニケーション
顧客、株主、取引先、地域社会との円滑なコミュニケーションに心がけ、適時適切に情報を開示し、風通しの良い企業風土を醸成します。

■ ゆとりと豊かさを求めて
職場環境の整備、労働条件の改善を図り、ゆとりと豊かさを実感できる仕組みづくりに努めます。

沿革

1941年（昭和16年） 名鐵工業株式会社 創業
社員数 127名
完成工事高 5千万円



当時の保線風景

1956年（昭和31年） 社名を「名工建設株式会社」と改称

1968年（昭和43年） 名古屋市西区に社屋建設

1973年（昭和48年） 社訓「誠実」制定

1982年（昭和57年） 名古屋証券取引所市場第二部（現メイン市場）へ株式を上場

アルゼンチン国鉄近代化工事の技術指導のため社員を派遣

1993年（平成5年） 企業理念の制定

2000年（平成12年） 本店管理部門をJRセントラルタワーズ34階へ移転
社員数1,000名突破

2003年（平成15年） 台湾高速鉄道建設工事に対する技術協力

2004年（平成16年） インドネシア国鉄ジャワ南線複線化工事に対する技術協力

2006年（平成18年） 行動規範の制定

2009年（平成21年） 愛知県清須市に枇杷島社屋建設、本店技術部門と名古屋支店を移転



枇杷島社屋

2015年（平成27年） JPタワー名古屋開業

2017年（平成29年） 本店技術部門をJRセントラルタワーズ35階へ移転

2021年（令和3年） 創立80周年

連携が生む相乗効果

当社が手がけている事業は、それぞれが相互に関連し補完し合っています。
各事業の成長が他事業の受注につながり、技術においても各事業で生み出した独自技術を共有することで、競争力を高めています。

Engineering-Works

土木

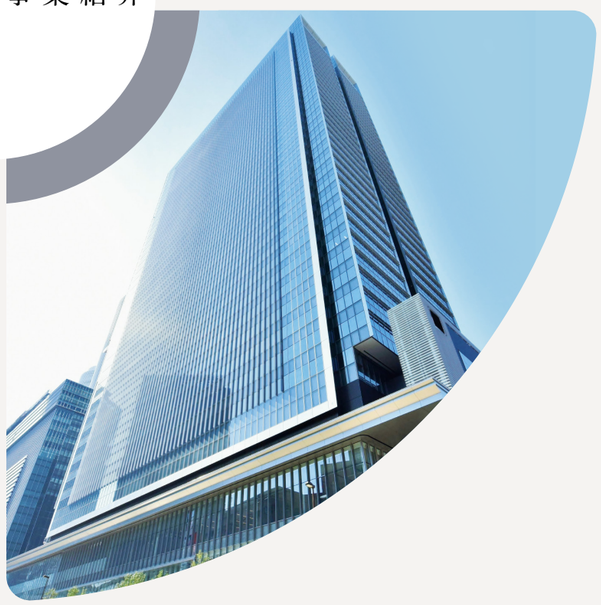
より快適で環境負荷の少ない
社会基盤の創造をめざして





SEGMENT　事業紹介





Railway-Construct

軌道

安全で快適な輸送を
支え続けるという誇りを胸に

Architect & Construct

建築

設計・施工からリニューアルまで
トータルにサポート

Real Estate Business

不動産

人と地域をつなぎ
活気ある街づくりに貢献

土木
Engineering-Works

磨いてきた
高度な技術と工法で
未来につながるインフラを
創ります。

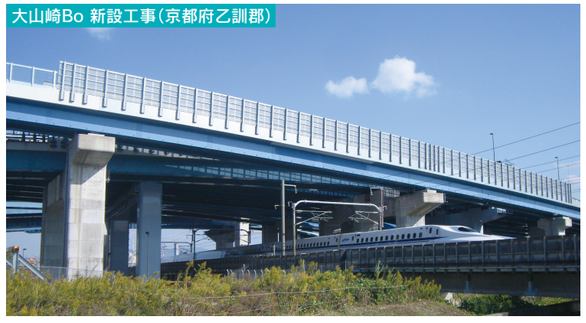
創立当初から鉄道、道路、トンネルや橋梁工事など、幅広いプロジェクトに参画し、人々の生活の基盤を支えてきた土木部門。なかでも「鉄道施設の建設、維持、補修」などの分野においては、その歴史の中で培ってきたノウハウと高度な技術力をいかんなく発揮し、大きな成果と信頼を得てきました。近年では、インフラの老朽化対策や大規模災害発生時に社会経済への被害を最小限に抑えるための復旧対応が求められているほか、BIM/CIMやICT技術の活用による生産性の向上と安全性の確保にむけた取り組みが注目されています。その時代のニーズに合わせた取り組みを行い、鉄道工事と公共工事で培ってきた技術力を融合させた相乗効果によって総合力を高め、地域の発展と人々が安心して暮らせる社会をつくり、未来につなげていきます。


えちぜん鉄道 高架橋新設工事（福井県福井市）


中呂Bv（岐阜県下呂市）


飛島ジャンクション（愛知県飛島村）


常葉川跨線橋（山梨県南巨摩郡）


大山崎Bo 新設工事（京都府乙訓郡）


松平トンネル（愛知県豊田市）


今川橋りょう（山梨県中央市）


毛長川 整備工事（東京都足立区）


樽見鉄道単独立体交差（岐阜県本巣市）

建築
Architect & Construct

時代を超えて愛される
建築物と安心・快適な環境を
創ります。

大規模な公共建築物から駅舎、オフィスビル、工場、共同住宅など、オールラウンドな実績を残してきた建築部門。地域の人々が安心して快適に暮らせる環境を創造してきました。近年では、カーボンニュートラルの実現に向け、地球環境との調和など付加価値の高い建築物への関心が高まっており、ネットゼロエネルギービル（ZEB）などの技術を通じ、省エネ、再エネといった環境配慮技術を組み合わせた設計をお客様のニーズに合わせて提供しています。建築物をソフトの面からもサポートするため、品質・コストの追求はもちろん、企画・設計から施工、アフターメンテナンス、リニューアルに至るまで、トータルサポート体制を整え、お客様により長く安全にご利用いただける価値の提供を追求していきます。

清須市本庁舎（愛知県清須市）



知多南部衛生組合火葬場（愛知県知多郡）



御殿場IC管理施設（静岡県御殿場市）



尾張一宮駅前ビル（愛知県一宮市）



えちぜん鉄道福井駅（福井県福井市）



新所原駅（静岡県湖西市）



桑名駅（三重県桑名市）



東山フイルム株式会社 研究棟（岐阜県瑞浪市）



マストスクエア本山（愛知県名古屋市）



軌道
Railway - Construct

新幹線の安全神話を
築いた技術を
世界の鉄道に提供しています。

『鉄道工事専門会社』として1941年6月に誕生した当社の原点となる軌道部門。創立以来80年以上にわたって鉄道工事に携わり、「安全・安定・快適な輸送を守る」という使命を果たしてきました。その歴史の中で、あらゆる軌道構造の新設工事・改良工事・保守工事を安全・確実に施工するためのノウハウを培っており、特にJR東海管内の新幹線・在来線のメンテナンスや、全国各地での新幹線軌道新設工事においてその技術力をいかんなく発揮しています。さらに、世界一安全に運行されている日本の鉄道システム・軌道構造は海外からも注目されており、技術協力としてアルゼンチンや台湾・インドネシアなどへ技術者の派遣を行っています。鉄道というインフラを支える技術を次の世代に伝えていく重要な使命も担っています。


東海道新幹線保守工事


在来線保守工事


東海道新幹線脱線・逸脱防止対策工事


新大阪駅構内軌道新設（大阪府大阪市）


北陸新幹線津幡軌道新設（石川県津幡町）


つくばエクスプレス軌道新設（茨城県つくば市）


九州新幹線八代軌道新設（熊本県八代市）


台湾高速鉄道（台湾）


ジャカルタ都市高速鉄道（インドネシア）

不動産
Real Estate Business

人や文化が集積する、新しい出会いの場を創出します。

当社の成長戦略の一翼を担うのが、不動産ビル事業。名駅一丁目に位置していた当社の旧本社社屋と名古屋中央郵便局跡地に「JPタワー名古屋」を日本郵便株式会社と共同で建設。2016年に商業施設「KITTE名古屋」が開業しました。日本の東西をつなぐビジネス拠点におけるランドマークの一つとして、多彩なショップや多くの法人事務所が入居しており、アトリウムはイベント開催等による情報発信の場としても賑わいを見せるなど、リニア中央新幹線開通に向けて『名駅エリア』全体がますます活気を帯びています。新しい出会いとコミュニケーションの場を創出し、地域全体の繁栄と価値向上に貢献しつづけます。


JPタワー名古屋


オフィスエントランス


オフィスサポートフロア


アトリウム


カンファレンスホール

安全への取り組み

安全に対する考え

公共性の高い事業を展開する当社では、企業理念及び行動規範において安全第一を掲げ、「安全の確保」をあらゆる事業の前提要件として位置づけています。

会社方針
- 企業憲章（安全第一の理念）
- 事故防止基本計画（年度毎）
- 安全推進組織による方針決定
- 社長メッセージの発信
- 幹部パトロールによる指導

高い安全意識を醸成する取り組み
- 全員参加による安全文化の確立のための「環境（組織）・人・仕組み」づくり
- 安全探究ルームを活用した社員研修
- 安全発表会、社外発表、安全表彰

徹底したリスク排除の取り組み
- 過去事象の分析による重点施策の決定と遂行
- 安全施工検討会での複数の視点による指導
- 声かけ・応答運動の推進

作業所安全施工サイクル
- 安全大会、安全衛生協議会等
- 点呼・朝礼、KY
- 各種安全パトロール
- 事故速報の活用
- 体感訓練、グループディスカッションによる指導
- タブレットや映像資料による見える化

活動指針

労働安全衛生

当社での労働安全衛生活動は、労働災害の根絶、社内の健康増進、快適な職場環境の形成促進、安全意識の高揚、安全衛生水準の継続的向上を目指して、取り組みを行っています。また、潜在的な危険性の低減、安全管理ノウハウ継承、自主的な安全衛生管理の定着のために、各種活動を実施しています。

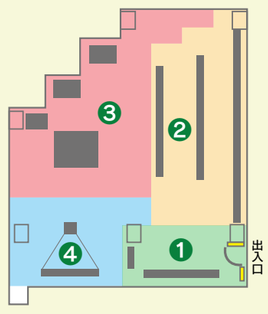
鉄道安全

極めて公共性の高い鉄道事業の線路保守を行う会社として、強い「使命感」と「責任感」を持って日々活動し、社会に貢献しています。線路保守は毎日毎夜行っていますが、小さなミスでもひとたび輸送に支障を来たせば、直接社会に大きな影響を与えてしまうことを社員、作業員一人ひとりに至るまで自覚させ、鉄道安全を確保しています。

「安全探究ルーム」を活用した安全教育

「安全のための本質を探究する運動」など、安全への取り組みを強く意識し推進するための施設、『安全探究ルーム』を枇杷島社屋5階に開設しました。
展示資料や映像教材等により安全について深く「考え、学ぶ」ことで、企業憲章における「安全第一」の意識を醸成し、人命や鉄道安全を守るための「ルール・基本動作の本質」を深く理解し、「過去事象のリスクや教訓」を体得することを目的としています。

安全探究ルームの内容




❶ 企業憲章コーナー
企業憲章パネル、企業憲章教育ビデオ


❷ 過去事象教育コーナー
事故損傷物品の展示と重大事象のパネル資料による説明





❸ 安全体感設備コーナー
安全体感設備
（電動工具、安全帯、重量物など）


❹ 安全教育コーナー
安全教育ビデオ、安全関係図書



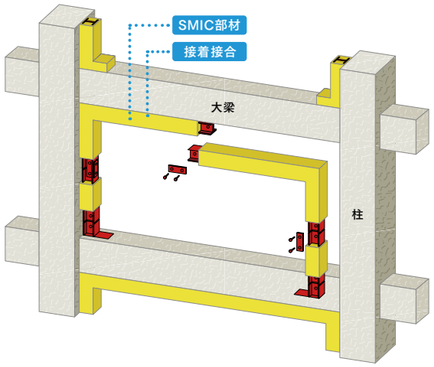
地震対応技術

開放性を維持したまま、耐震補強を可能に

SMIC工法

開放型耐震補強技術

既存RC及びSRC造建築物を対象とした柱・梁の構面内に、鉄骨と繊維補強コンクリートで構成される「SMIC部材」を接着接合にて一体化し、耐震性能を向上させる開放型の耐震補強工法です。



特長

開放性の確保
補強後も居住性・機能性・採光を保つことができます。ブレースがないので人や車の通り抜けが可能です。

現場での工期短縮
工場で製作した「SMIC部材」を組立て施工するだけなので、現場での工期が短縮できます。

下階抜け設計が可能
検討によっては、必要階のみの補強も可能に。トータルコストの削減と工期短縮に貢献します。

低騒音・低振動
柱・梁と「SMIC部材」を接着接合するため、騒音・振動・粉塵の発生を軽減できます。

品質安定
「SMIC部材」は（一社）プレハブ建築協会による国内N認定取得のPCa製造工場で製作しています。



環境対応技術

エネルギー収支ゼロの快適な室内環境

ZEB

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル

快適な室内環境を保った上で建物の消費エネルギーを抑え、太陽光発電などにより創出したエネルギーを活用し、エネルギー収支ゼロを目指した建物です。



特長

光熱費削減
省エネ機器や自然エネルギー（風・光・熱など）活用といった環境配慮技術を組み合わせてプランニングし、光熱費を削減します。

知的生産性向上
建物の断熱・遮熱性能や熱源設備等の性能が高いため、エネルギー消費を抑えながら快適性や居住空間の質を高めることができ、知的生産性の向上につながります。

BCP対応
自然災害やテロ、システム障害など危機的な状況に遭遇した時に損害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図ります。

ESG投資
投資家から社会的意義、成長の持続性など優れた特性を持つ企業として認識され、積極的な投資の対象となり得ます。

資産価値の向上
メリットを複合的に評価され、建築物の資産価値向上に寄与します。



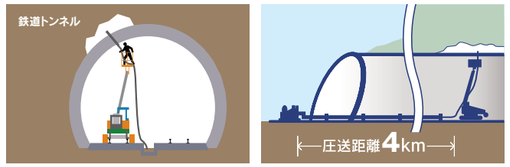
リニューアル&メンテナンス技術

中継ポンプなしで、国内最長の4kmの圧送を実現

ネオグラウト工法

超長距離圧送

従来のトンネル裏込注入工法のポンプ圧送距離をはるかに超える4kmという国内最長の長距離圧送を可能にした、当社の独自技術。長大トンネルの維持・補修に新しい境地を拓きました。道路・鉄道・水路トンネルの経年・地震対策など幅広い分野で活用が期待されています。





プラントを坑内に持ち込めないトンネルや小断面のトンネルに注入が可能。

特長

超長距離の圧送性
A液（セメント）とB液（フライアッシュ）に特殊増粘剤を調合することにより、国内最長クラスの4kmの長距離圧送が可能となります。

高い品質を確保
高い水中分離抵抗性を保ち、早期の可塑性発現と揺変性を持続させます。材料を適正に管理することで超長距離圧送においても高い品質を確保します。

環境にやさしい
石炭灰（フライアッシュ）の有効利用により、環境負荷低減につながります。プラントを坑外に設置することでトンネル内の作業環境を改善します。

工期短縮・コスト縮減
注入箇所でプラントを設置する場合と比べてコスト縮減が可能です。



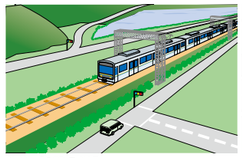
その他の技術

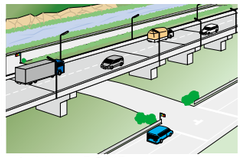
長体構造物の変位・振動計測システム

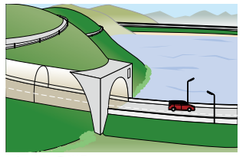
DIMRO®

光ファイバ変位計測システム

DIMRO®は、長体構造物（鉄道、橋梁、トンネルなど）の鉛直変位と水平変位、及び振動を同時に計測できるシステムです。センサ部には、光ファイバセンシング技術を応用し、静的・動的変位を同じシステムで計測することが可能です。


鉄道・路盤の挙動


コンクリート橋の挙動


トンネルの挙動

特長

高い信頼性
センサ部に光ファイバを用いることで落雷や電気誘導など電磁気の影響を受けず、高い信頼性があります。

高速計測
1つのシステムで静的計測（サンプリング速度：1秒に1回）、動的計測（サンプリング速度：1秒に1000回）が可能です。

長期の野外設置に対応
計測装置の外管に耐候性塗装を施しており、長期の野外設置に対応できます。

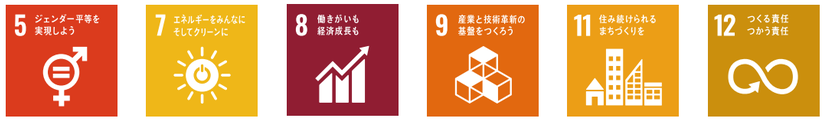
高耐振動、衝撃性
JIS規格E3014振動試験の3種、JIS規格E3015衝撃試験の4種をクリアしており、高い耐振動性、耐衝撃性があります。

高汎用性
1つのユニットで50mにわたる計測ができ、最大200mまで延長可能です。

ESG

社会インフラの構築に携わる当社では、「企業活動そのものが社会的貢献である」という認識のもと、
ESG（環境・社会・ガバナンス）経営に率先して取り組み、サステナブルな社会の実現を目指して事業を展開しています。

事業活動を通じて、SDGsの目標達成に貢献する取り組みを進めています。



環境



- 国際基準規格・ISO 14001を認証取得し、全店で環境保全活動に取り組む
- 地球温暖化防止へ向けて、省エネ・省資源の推進と、建設副産物の適正な処理に取り組む
- 環境に関する法律・条例及び顧客並びに当社が同意する近隣の求める事項を順守する
- 環境保全に寄与する技術開発に努めるとともに、環境に適合した建設物の設計・施工に努める
- 社員及び協力会社社員に対して環境情報を提供し、環境保全の意識向上に努めるとともに、地域社会との良好なコミュニケーションを図り、環境の恵み豊かな地域づくりに取り組む
- 業務における公共交通機関の利用を促進し、クールビズ及びウォームビズの推進に努める

品質



- 具体的な事例に基づく繰り返し教育の徹底と、ITツールの活用による「品質管理の見える化」を促進する
- 国際基準規格・ISO 9001を認証取得し、それに準拠した品質マネジメントシステムを運用する
- 工事施工に関連するお客様からの意見は、情報収集・分析、早期対応とともにマネジメントシステムの改善に反映させる
- 内部品質監査と外部審査を実施することで、品質マネジメントシステムの継続的改善に取り組む
- 提供する建築物・建造物の品質を高めることだけを目標とせず、顧客満足度をより向上するための会社組織のあり方の継続的改善に取り組む

人権



- ワーク・ライフ・バランスを考え、全社一丸で「ゆとりと豊かさを実感できる仕組みの充実」に取り組む
- 女性の活躍に向けた制度の充実や若年層に対するサポート制度を設ける
- シニア層の定年制度の見直しにより、活躍を推進する
- 障がい者雇用において、雇用率向上を目指し、面接会等へ参加する
- 「心の健康づくり計画」を策定し、社員及びその家族の精神的なサポートに取り組む
- 計画的な労働時間の短縮や有給休暇の取得を推進し、男女ともに育児休暇を取得しやすい体制づくりを推進する

コミュニティ



- ステークホルダーとの「良き協力」と「適切な緊張」に基づく円滑な関係を構築し、ステークホルダーの立場を尊重する企業風土の醸成を目指す
- ウェブサイトや株主・投資家説明会等を利用した適時適切な情報開示に努める
- 施工した物件を分かりやすく分類し、ホームページや会社案内などで紹介する
- 各地域の事業所や作業所において、社員や協力会社が地域防犯活動や地域美化活動等に参加する
- CSR活動の主な取り組みと管理指標（KPI）を公表する

防災





- 台風や雪害発生時には早期復旧活動に貢献し、また、復旧のための関連機材等を備蓄する
- BCP（事業継続計画）の策定、及び継続的な発展・強化のための定期的な見直しを図る
- 大規模地震を想定した防災訓練を毎年実施し、社員の意識向上を図る
- 発電器等の非常設備を備えるとともに、水・毛布・簡易トイレ等を常備し、地域住民避難場所として社屋を提供できるよう備える
- 災害時の応急復旧専用機材として、200基の「軽量ベント」を愛知県・静岡県に分散配置し、非常時に備える

コンプライアンス



- 企業憲章に掲げられた理念に則り社会の要請に応え、法令遵守はもとより、社会の構成員たる企業として求められる価値観・倫理観によって誠実に行動する
- 公正かつ適正な経営を実現し、社会との調和を図り、企業を創造的に発展させる
- 企業活動の透明性を高めるため、「内部通報者保護に関する規程」を制定し、コンプライアンスヘルプラインを設けるとともに、通報者の保護、不利益とならない取り扱いについて規定する
- 各組織の中でコンプライアンスチェック機能が自律的に働く職場環境づくりを進め、コンプライアンス意識向上のための教育を継続実施する
- リスク発生時には情報の早期共有化により全社で対応するとともに、不正・不適切行為をなくすために各種施策を実施する

本店
〒450-6113 名古屋市中村区名駅1-1-4
JRセントラルタワーズ
TEL：052-589-1501

東京支店
〒110-0016 東京都台東区台東3-28-8
名工建設東京ビル
TEL：03-5807-7860

静岡支店
〒422-8067 静岡市駿河区南町6-1
TEL：054-283-3800

甲府支店
〒400-0863 甲府市南口町6-15
TEL：055-235-8811

名古屋支店
〒452-0037 愛知県清須市枇杷島駅前東1-1-1
TEL：052-746-1600

大阪支店
〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-6
アクロス新大阪
TEL：06-6350-3730

北陸支店
〒920-0031 金沢市広岡1-5-23
TEL：076-262-5500

事業内容
1. 土木工事、建築工事、軌道工事及びその設備工事の施工、監理並びに企画、設計、測量、コンサルティングの請負
2. 工事用資材の製造、販売及び賃貸
3. 住宅及び不動産の売買、交換、賃貸借、仲介並びに管理に関する事業
4. 倉庫業
5. 体育施設、文化施設、遊園地、ホテル、旅館の経営
6. 前各号に附帯関連する一切の事業

グループ会社
名工商事株式会社
株式会社大軌
株式会社静軌建設
株式会社ビルメン



名工建設株式会社